

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	1年	1単位	必修
担当教員			
宮元 預羽 ・ 川原 ゆかり			

講義概要	<p>①「コミュニケーションA」で学習したコミュニケーションの基礎を応用する力を身につける。                  ②障がいの程度や種別、生活状況に応じたコミュニケーションを学び、実践する。                  ③日常生活の中で利用者の心のゆとりが得られるアクティビティを提供する技術の習得を目指す。                  ④対象者のニーズに沿ったアクティビティの提供方法を自ら考える力を身につける。                  ⑤対象者とその家族、関連職種とのコミュニケーション力を身につける。</p>
授業計画	<p>1 発表会・講演会等における質問力について                  ・利用者の特性に応じたケアの実践を明確化する為の質問力を養う</p> <p>2 コミュニケーション障害の理解 I                  ・テキスト p 136～147.</p> <p>3 コミュニケーション障害の理解 II                  ・テキスト p 148～160.</p> <p>4 利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーション I                  ・テキスト p 161～197. 配布資料.                  音楽療法的レクリエーション</p> <p>5 利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーション II                  ・テキスト p 161～197. 配布資料.                  音楽療法的レクリエーション</p> <p>6 利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーション III                  ・テキスト p 161～197. 配布資料.                  音楽療法的レクリエーション</p> <p>7 介護におけるチームのコミュニケーション I                  テキスト p 200～208. 配布資料.                  価値・協力・集団</p> <p>8 描画療法と対人援助 I                  ・</p> <p>9 描画療法と対人援助 II                  ・</p> <p>10 利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーション IV                  ・テキスト p 161～197. 配布資料.                  回想法的レクリエーション</p> <p>11 利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーション V                  ・テキスト p 161～197. 配布資料.                  回想法的レクリエーション</p> <p>12 利用者の特性に応じたコミュニケーション・レクリエーション VI                  テキスト p 161～197. 配布資料.                  回想法的レクリエーション</p> <p>13 介護におけるチームのコミュニケーション II                  ・テキスト p 209～241                  記録</p> <p>14 介護におけるチームのコミュニケーション III                  ・テキスト p 242～257.                  報告・連絡・相談・会議</p> <p>15 介護におけるチームのコミュニケーション IV                  ・テキスト p 242～257.                  報告・連絡・相談・会議</p>
授業形態	講義・演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①コミュニケーション対象者の特徴を理解する。                  ②コミュニケーション障害とは何か、を理解する。                  ③障害の程度や種別より適切にアセスメントを行い、実践し、評価する力を身につける。                  ④対象者のニーズに沿ったアクティビティの提供方法を考え、提供する力を身につける。                  ⑤障がいのある方、その家族、関連職種とのコミュニケーション方法を理解する。</p>
教科書・参考書	<p>テキスト：介護福祉士養成講座編集委員会 新・介護福祉士養成講座5『コミュニケーション技術』第3版中央法規出版。                  その他：適時配布。</p>
履修条件	
履修上の注意	この科目は、レクリエーションインストラクター養成課程の関連科目です
オフィスアワー	授業終了後。その他、随時、研究室にて受け付ける。

備考・メッセージ

演習においては、課題に対する自発的、積極的な取り組みが前提となります。